

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和元年度 焼津市ターントクルこ	階数	地上4F
建設地	静岡県焼津市栄町5丁目135-1他4	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	537 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集会所,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年12月4日
敷地面積	1,615 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓也
建築面積	989 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月5日
延床面積	2,754 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	・利用者に配慮した、環境を確保している。	その他 0
Q1 室内環境	・開口部遮音性能T-2採用している。・内装材は規制対象外品を採用し、化学物質の採用削減に努めている。・全館禁煙としている。	Q3 室外環境 (敷地内) ・LGSは、県産材スギ板を採用かつ、軒裏ルーバーは、静岡県産杉を採用。 ・おもちゃ美術館とこども図書館を併設し、地域の活動やにぎわいに貢献。
LR1 エネルギー	・高性能断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に努め、省エネルギー性能に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・省エネルギー性能を高め、LCCO <sub>2</sub> 排出率を削減する事で、地球温暖化防止に努めている。・フェリリスト、配慮事項の過半を満たす等、光害の抑制に配慮している。
Q2 サービス性能	・バリアフリー誘導基準を満たしている。・内装計画に関する取組みを行っている。・防汚性の高い建材を採用し、建物の維持管理に努めている。・耐用年数の長い給排水管を採用している。・耐震クラスAを確保している	
LR2 資源・マテリアル	・節水型水栓、節水型便器を採用し、節水性能に配慮している。・リサイクル材の活用を努めている。・防水工事のプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている。・ノンフロン断熱材を採用、フロンハンの回避に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される